



いがらし博文県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

成田小見川鹿島港線と国道409号

道路ネットワーク強化へ接続を提案

2月県議会一般質問



2月定例県議会で一般質問を行う五十嵐博文県議

「溢れる情熱で県政を拓く」をスローガンに、地域の発展に取り組んでいる五十嵐博文県議(富里市、1期)は2月定例県議会で一般質問に立ち、道路ネットワークの強化や農業・養豚の振興、地域防災力の強化について県の施策や方針を尋ねました。五十嵐県議は、成田空港周辺の道路ネットワークの強化のためにも成田小見川鹿島港線と国道409号の接続が有効として、県の考えを質しました。五十嵐県議の質疑と県執行部の答弁を特集します。

五十嵐議員 東日本大震災以降、災害に強い道路ネットワークが重要視されているが、特に、複数の手段・経路のネットワークを持つ代替性・多重性の交通ネットワークは重要であると考える。

そこで事例に基づき質問するが、圏央道は完成目標が示された以降、県民の期待はさらに大きくなっている。しかし、本路線は現在のところ、対面走行の暫定2車線となっており、先般の積雪時ではさまざまな要因はあったにせよ、横芝光インターチェンジから木更津東インターチェンジまでの間は全線通行止めとなったように、本路線への不安が残されている。

2月定例県議会で一般質問を行う五十嵐博文県議

県北西部と成田空港直結

2路線の接続で

どのように捉えているか。

県土整備部長 一般国道409号は、神奈川県川崎市を起点とし、東京湾アクアラインを経由し、千葉県の木更津市、茂原市、富里市などを経て成田市に至る総延長約126キロメートルの道路です。

一般国道は、重要な都市や拠点を連絡し、高速自動車国道と一体となって全国

的な幹線道路網を構成するものであり、本路線につきましても、県南、県央、県北の諸都市や空港、港湾を結ぶ重要な機能を有しています。

また、緊急輸送道路一次路線に指定されており、高速道路や他の一般国道などとともに災害時の緊急輸送を担う重要な機能も有しています。

はさらに拡大されたいと考えます。

そこで伺うが、国道409号と主要地方道成田小見川鹿島港線は、非常に有効であると考えているが、県の考えはどうか。

県土整備部長 成田小見川鹿島港線は、成田市を起点とし、多古町、香取市を経て茨城県神栖市へ至る総延長約42キロメートルの道路であり、国道409号とは国道51号を経由して連絡する形になっています。

その国道51号は、地域の交通を支えるとともに、千葉、佐倉、香取地域を結ぶ重要な国道ですが、成田市街地間では交通が集中し、また、交差点も多いことから、交通混雑が発生している状況です。

県としても、当該地域の道路交通環境のさらなる向上が、中長期的な課題であると認識しています。

再質問 五十嵐議員 国道409号と

成田小見川鹿島港線の接続について、今後、どのように取り組むのか。

県土整備部長 成田空港周辺では、空港へのアクセス強化や地域振興を図るため、圏央道や北千葉道路の整備はもとより、国道409号や成田小見川鹿島港線の拡幅等を鋭意進めているところとす。

国道409号と成田小見川鹿島港線を接続する新たな路線の整備につきましては、県道成田小見川鹿島港線整備促進協議会から要望をいただいているところです。

県としては、成田空港の更なる機能強化を踏まえた将来の交通動向も勘案しつつ、また、ご提案の接続と検討を進めてまいります。

●富里市と県政に関するご要望をお寄せください。

いがらし博文 県事務所

〒286-0221 富里市七栄646-759

TEL0476-90-2801 FAX0476-90-2802

平成28年農業産出額 千葉県は4711億円

過去10年間で最大も 全国順位4位のまま

五十嵐議員 都道府県別の平成28年農業産出額の公表を受け、県は現時点でどのように受け止めているか。

農林水産部長 本県の平成28年農業産出額は、秋の天候不順による野菜価格の上昇や、畜産物の堅調な需要などにより、前年に比べ6・9%増の4711億円と、過去10年間で最大となりましたが、全国順位は第4位にとどまりました。

産出額第2位の奪還に向けては、産地の戦略的な競争力強化と高収益型農業への転換を引き続き促進するとともに、首都圏に位置する優位性や、生産者の高い技術力など、本県の持つポテンシャルを最大限に発揮していくことが重要であると考えています。

再質問 五十嵐議員 現在策定中の地域農林業振興方針について、どのような基準に基づき策定されているのか。

県内消防団員の報酬 全国平均下回る

五十嵐議員 地域防災力の強化について伺う。消防団員の報酬だが、本県の1団員当たりの報酬は平成29年4月1日現在で全国平均の3万473円にも満たない2万8037円で最も高い報酬から数えて24位となっている。

法律に準ずるうえでも各市町村の実態を踏まえ、段階的改善に向けた取組等、さらに必要な措置が求められると考える。そこで伺うが、消防団員の報酬額の現状について、県はどのように

認識しているか。

防災危機管理部長 消防団員の報酬額は、各市町村の条例により定められており、市町村の責任において、決定されております。消防団の処遇改善は喫緊の課題であり、交付税の算定

具体的には、現振興方針の達成状況を確認するとともに、農業経営体数や経営規模、農地利用などの生産

五十嵐議員 全ての農業産出額公表後において、県はどのような観点から評価を実施し、更にその評価をどのように反映させようとしているのか。

農林水産部長 県では、振興計画に掲げた農業産出額全国第2位の目標に向け、産地の戦略的な競争力強化

に用いる単価を踏まえ、改善が図られるべきものと考えております。

五十嵐議員 各市町村の段階的改善に向けた取組等、さらに必要な措置を講ずるために、今後、県はどのように対応するのか。

防災危機管理部長 県では、毎年度、各市町村における消防団の実態調査を行っており、消防団員報酬額についてもその状況を把握しております。

消防団員確保へ機能別団員制度
五十嵐議員 消防団員の

構造の特徴を踏まえつつ、担い手の確保や産地の強化、地域資源の活用など、地域が抱える課題の解決に向けて、生産者、市町村や農協などの意見を伺いながら、策定をしてまいります。

全国2位の目標実現へ 高収益農業へ転換

と高収益型農業への転換を促進することにより、生産力と販売力を強化していくことが重要と認識しています。

そのため、主要な品目ごとに、産地の状況や実需者ニーズ、首都圏の市場における価格の動向に加え、農家数や農地利用など農業構造のデータをもとに、産出額

を増加させるための課題を整理するとともに、振興計画に掲げた目標を達成するための取り組みを評価しているところ。

面に掲げた目標を達成するための取り組みを評価しているところ。

これらの結果を踏まえ、より効果的な施策への見直しや改善などを行い、農業者や市町村など関係団体との緊密な連携のもと、事業を着実に実施し、力強い千葉県農業の確立を目指してまいります。



議場の自席で再質問を行う五十嵐博文県議員

「ボウソウル4」誕生1年 養豚、種付け伸びる

五十嵐議員 養豚振興について伺う。ボウソウル4が誕生してから1年余りが経過しているが、現在の普及の状況について、県はどのように捉えているか。また、今後

減少について、県としてどのように認識しているか。また、その対策にどのように取り組んでいるか。

防災危機管理部長 大規模災害の発生が危惧される中、多様化・増加する消防団の役割に対応するためにも消防団員を確保すること

は、地域防災力向上の観点から大変重要なことと認識しております。

このため、県では、企業、市町村、大学と連携いたしまして、県民の日行事などにお

の普及について、どのように考えているか。

知事 ボウソウル4は肉豚生産のための種豚として繁殖性や発育の早さに優れた遺伝的能力を持ち、養豚

ける消防団活動を紹介するイベントの開催や企業への説明会、PR動画による「消防団協力事業所」の周知、さらに若年層を対象とした「消防活動一日体験講座」や県立高校での「消防・防災活動出前講座」の実施など、様々な事業を展開し消防団への入団促進を図っています。

また、女性の消防団への加入を促進し、予防・啓発など専門分野に特化した「機能別団員制度」の導入を市町村に促しているところで

います。

要望 五十嵐議員 安定的で肉質の良い肉豚生産を目指した積極的な取組と、ボウソウル4が県産豚肉の消費拡大を牽引して